

大学院保健科学院 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー（DP））

大学院保健科学院は、本学が掲げる4つの基本理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）の下、保健科学の基礎的素養と高度な専門的素養を身につけた、科学技術の高度化、学際化、国際化等に対応できる多様な知識、判断力および実務対応能力を持つ人材の育成を教育目標としています。

大学院保健科学院では、この目標に求められる具体的な能力を修士課程および博士後期課程の学位授与水準に定め、当該能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し、学位論文の審査および試験に合格した者に修士または博士の学位を授与します。

保健科学専攻の学位授与水準

保健科学専攻では、様々な分野との融合と連携により、保健科学分野における研究を遂行し、次世代の保健科学を担う高度医療専門職者および指導者・教育者・研究者の育成を目標とします。保健科学院の教育目標に基づき、具体的に次の能力を持つと認められる者に対し、修士または博士の学位を授与します。

「修士課程」

- ・保健科学分野での最新の知識と正しい理解
- ・保健科学分野の研究者に必要な研究遂行力と倫理的判断力
- ・保健科学分野の研究に必要な方法論の修得
- ・保健科学分野の研究結果の妥当性を判断する能力
- ・保健科学分野の研究結果の持つ意義を考察する能力
- ・保健科学分野ならびに他分野の研究者とディスカッションできるコミュニケーション能力
- ・保健科学分野の高度専門職者に必要な実践能力

「博士後期課程」

- ・保健科学分野での最新の知識と深い理解
- ・保健科学分野の研究者に必要な高度の研究遂行力と倫理的判断力
- ・保健科学分野での研究課題を発見する能力
- ・保健科学分野の困難な問題解決を可能とする洞察力と柔軟な発想力
- ・保健科学分野の研究開発に必要な企画力、調整力とリーダーシップ
- ・国際的に保健科学分野ならびに他分野の研究者とディスカッションできるコミュニケーション能力